

地域包括支援センター 事業計画・報告・評価書作成の手引き

～川崎市における事業評価の考え方～

令和6年6月版

川崎市地域包括ケア推進室

目次

| | |
|---|-------|
| はじめに（手引きの趣旨） | …… 1 |
| 1. 事業評価とは | |
| （1）事業評価とはなにか | …… 2 |
| （2）地域包括支援センターにとっての事業評価 | …… 3 |
| （3）国としての地域包括支援センター事業評価 | …… 6 |
| 2. 川崎市における事業評価と事業計画作成の方針 | |
| （1）地域包括支援センターと行政の双方向の関係 | …… 8 |
| （2）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務「環境整備」との一体的な推進 | …… 9 |
| （3）「市事業評価」と「国事業評価」の活用 | …… 12 |
| 3. 評価の流れ・スケジュール | |
| （1）事業評価全体の流れ | …… 15 |
| （2）地域包括支援センターの対応スケジュール | …… 16 |
| 4. 市事業評価（センターの取組状況の確認、地域課題の整理）の手順 | |
| （1）市からの次年度運営方針案と地域統計情報の提供（2月） | …… 18 |
| （2）地域包括支援センター事業計画書（現年度）の作成（2月～5月） | …… 19 |
| （3）地域包括支援センター事業報告・評価書（前年度）の作成（4月～5月） | …… 27 |
| （4）地域包括支援センター事業計画書（現年度）、事業報告・評価書（前年度）の提出（～5月） | …… 30 |
| （5）区の取組課題整理（～9月） | …… 32 |
| （6）市の取組課題整理、市・区への提案事項への対応状況等のフィードバック（～12月） | …… 34 |
| （7）各区地域みまもり支援センター及び地区健康福祉ステーションのヒアリング（1月～3月） | …… 34 |
| 5. 国事業評価（体制・運営状況等の評価）の手順 | |
| （1）全国統一の評価の実施（5月～6月） | …… 36 |
| （2）全国統一の評価の結果のフィードバック（1月～2月） | …… 36 |
| 様式 | …… 38 |

はじめに（本手引きの趣旨）

手引き作成の背景と目的

- 地域包括ケアシステムの構築を推進していく上で、地域包括支援センターの機能の強化は、地域にとって重要な課題となっています。
- 地域包括支援センターが求められる機能を十分に発揮するために、地域包括支援センターには、介護保険法により事業評価の実施が義務付けられました。
- これを受け、国は全国で統一して用いる評価指標を策定しました。また、川崎市においても市独自の事業評価のあり方や様式を検討してきました。
- このような経緯を踏まえ、地域包括支援センター、区、市の3者が、同じ目的に向かって事業評価を実施し、評価を通じて地域包括ケアを効果的に推進できるように支援することを目的に、事業評価において重視する考えや実施手順を手引きとしてまとめました。

手引きの対象者

- この手引きの主な対象者は、地域包括支援センターの事業評価に関わる、地域包括支援センター、区、市の担当職員です。事業評価をはじめて担当する際や、どのように記載すればよいか迷ったときの指針として読まれることを想定しています。
- この手引きが活用されることで、事業評価を実施する目的や記載した情報が活用されるまでの流れの理解が進むことや、地域包括支援センター、区、市が連携しやすくなることを期待します。

手引きの構成

- この手引きは、全5章で構成しています。
- 前半の2章では、まず事業評価とは何かを振り返ったうえで、川崎市において重視しているポイントを説明します。後半の3章では、全体のスケジュールを確認したうえで、市事業評価と国事業評価のそれぞれについて手順を説明します。

«この手引きの構成»

1. 事業評価とは
2. 川崎市における事業評価と事業計画作成の方針
3. 評価の流れ・スケジュール
4. 市事業評価の手順
5. 国事業評価の手順

1. 事業評価とは（包括の役割と事業評価の目的）

（1）事業評価とはなにか

■ 事業評価は目的を達成するための手段

- 「事業評価」は、目的を達成するための単なる手段です。
- 「事業評価」と聞くと、「できた」「できなかった」と結果の良し悪しに目が行くかもしれませんが、あくまでも目的について取り組んだ結果どうであったかを記録し、次の打ち手を考えるための手段として捉えます。
- 「事業評価」が手段であることを見落としてしまうと、何のために評価しているのかわからなくなり、多忙な業務のなかで、ただ「評価のための評価」をしている状態になります。結果として、評価をすること自体のモチベーションが下がるだけでなく、業務における取組が停滞してしまいます。

■ 事業評価には「目指す姿（ありたい状態）」が必要

- 評価の前には、どうなりたいかという「目指す姿（ありたい状態）」を描き、その人の「現状」を振り返った上で、解決すべき「課題」を見つけていくことが欠かせません。
- 「目指す姿（ありたい状態）」とは、山登りで例えるなら、「山頂」です。今いるところ（現状）から、どこを目指して進んでいけばいいか、到達したい目標と進むべき方向を定めることは、極めて重要なことです。

図 目指す姿（ありたい状態）と現状、課題のイメージ



出典 「地域づくりの実践に向けた道しるべ」2021年3月（NTTデータ経営研究所）

★「問題」と「課題」、使い分けていますか？

「問題」とは、目指す姿（ありたい状態）と現状のギャップです。「課題」とは、問題を解決するために取り組むべきことです。登山で例えると、次のようにイメージできます。

目指す姿：山頂

現状：今いるところ

問題：山頂と今いるところの差（ギャップ）

課題：山頂にたどり着くための道筋、方法

（２）地域包括支援センターにとっての事業評価

■ 地域包括支援センターの「目指す姿（ありたい状態）」とは

- 地域包括支援センターは、介護保険法において、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とされています。
- 「地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定」と「地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進」の２つの目的のために、個別（点）の支援とともに、地域包括支援センターの活動基盤となる地域（面）への働きかけを一体的に行う機関です。
- 具体的には、総合相談支援、権利擁護、介護予防ケアマネジメント、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務を実施します。事業評価もこの４つの業務の視点で実施します。

■ 地域包括支援センターの目指す姿と、市の目指す姿

- 地域包括支援センターが、活動基盤となる地域（面）への働きかけを行うためには、地域包括支援センターそれぞれが目指す姿と、保険者として市の目指す姿のそれぞれが必要です。
- 市として目指す姿は、かわさきいきいき長寿プラン（「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」の一体的な策定）により３年に１度見直し、示されます。

★根拠

介護保険法第115条の46

地域包括支援センターは、第一号介護予防支援事業（居宅要支援被保険者に係るものを除く。）及び第百十五条の四十五第二項各号に掲げる事業（以下「包括的支援事業」という。）その他厚生労働省令で定める事業を実施し、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、

その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする施設とする。

介護保険法第115条の46第7項

地域包括支援センターの設置者は、包括的支援事業の効果的な実施のために、介護サービス事業者、医療機関、民生委員法（昭和二十三年法律第九十八号）に定める民生委員、被保険者の地域における自立した日常生活の支援又は要介護状態等となることの予防若しくは要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止のための事業を行う者その他の関係者との連携に努めなければならない。

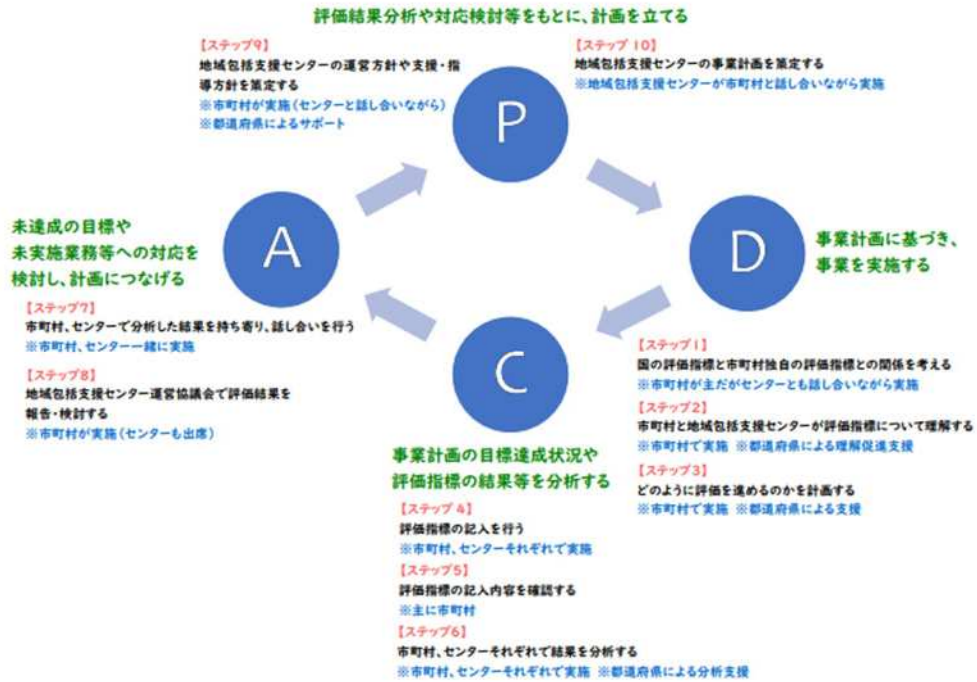
★川崎市における地域包括ケアの推進

令和3年度からの「第8期かわさきいきいき長寿プラン」においては、地域包括ケアの推進に向けて、「地域包括支援センターの総合相談機能の充実」とともに、「地域の関係者・団体等と地域包括支援センターのネットワーク構築による地域力の向上」を一体的に進めることとしています。

■ 地域包括支援センターにとっての評価の重要性

- 平成30年度施行の改正介護保険法において、これまで努力義務とされてきた地域包括支援センターの評価が義務化されました。
- 地域包括支援センターが求められる機能を十分に発揮するためには、業務の状況を定期的に把握・評価すること、その結果を踏まえて、センターの設置者及び市が事業の質の向上のために継続的に改善を図ること、（PDCAサイクルに沿った事業）が重要です。

図 地域包括支援センターのP D C Aサイクル



出典 「評価指標活用の手引き」令和2(2020)年3月(三菱UFJリサーチ&コンサルティング)

★地域包括支援センターの事業評価の根拠法

介護保険法 第115条の4第4項

地域包括支援センターの設置者は、自らその実施する事業の質の評価を行うことその他の措置を講ずることにより、その実施する事業の質の向上に努めなければならない。

介護保険法 第115条の4第9項

市町村は、定期的に、地域包括支援センターにおける事業の実施状況について、点検を行うよう努めるとともに、必要があると認めるときは、次条第一項の方針の変更その他の必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

★「PDCAサイクル」とは？

事業を継続的に改善するための事業評価の考え方の一つで、計画(Plan)、実施(Do)、評価(Check)、処置(Act)、また計画(Plan)……というように、計画と評価の組み合わせを繰り返す方法です。

参考 「地域包括支援センター運営マニュアル」

(3) 国としての地域包括支援センター事業評価

■ 全国統一の評価指標により体制や運営の状況を確認

- 地域包括支援センターの事業評価の方針として、平成30年に事業評価が義務づけられると同時に、国において、全国で統一して用いる評価指標が策定されました。全国の市町村と地域包括支援センターでは、評価指標を用いた地域包括支援センターの事業評価を行うことになりました。
- 全国統一の評価指標には、地域包括支援センターの実施すべき項目と、市町村が実施すべき項目がセットで設定されています。これにより、地域包括支援センターと市が運営方針を共有したうえで、連携した事業運営が出来ているかを評価することができるようになっています。
- 評価指標の内容は、「組織・運営体制等」「個別業務」「事業間連携」の3つで構成されており、地域包括支援センターの体制や運営の状況を確認できます。
- この全国統一の評価指標を、「地域包括支援センター事業計画・報告書」と併せて、地域包括支援センターのPDCAサイクルを回すためのツールとして活用します。

表 国評価指標の評価項目の構成

| 業務大項目 | 市町村 | ←連携項目数→ (役割分担・連携) | 地域包括支援センター |
|----------------------------|------|----------------------|------------|
| Ⅰ. 組織・運営体制等 | | | |
| 1. 組織・運営体制 | 13項目 | ←10項目→ | 12項目 |
| 2. 個人情報の管理 | 3項目 | ←2項目→ | 4項目 |
| 3. 利用者満足度の向上 | 3項目 | ←3項目→ | 3項目 |
| Ⅱ. 個別業務 | | | |
| 1. 総合相談支援業務 | 6項目 | ←5項目→ | 6項目 |
| 2. 権利擁護業務 | 4項目 | ←4項目→ | 5項目 |
| 3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 | 6項目 | ←5項目→ | 6項目 |
| 4. 地域ケア会議 | 13項目 | ←9項目→ | 9項目 |
| 5. 介護予防ケアマネジメント ・介護予防支援 | 6項目 | ←5項目→ | 5項目 |
| Ⅲ. 事業間連携（社会保障充実分事業） | | | |
| | 5項目 | ←5項目→ | 5項目 |
| 計 | 59項目 | ←48項目→ | 55項目 |

★全国統一の評価指標の開発経緯

全国統一の評価指標は、老人保健健康増進等事業の研究成果の蓄積により、市町村と地域包括支援センターとの役割分担や具体的な業務を明確にすることで作成されました。

まず、研究事業によって、地域包括支援センターの機能は設置主体である市町村の機能に大きく影響を受けることが明らかになりました。

そこで、市町村による地域包括支援センターの運営方針の決定から始まる地域包括支援センターの業務プロセスを、地域包括支援センター運営マニュアルやこれまでの報告書等から整理しました。また、地域包括支援センター等へのヒアリングから実際の業務実態を把握しました。

参考 「評価指標活用の手引き」令和 2（2020）年 3 月（三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング）

■ 同じ指標で評価するメリットは比較ができること

- 評価指標が統一されるメリットは、同じ評価指標で評価した結果を比較できることです。
- 「国評価指標」では、各センターの評価を集計して、川崎市の平均と全国平均を算出します。また、各区内のセンターの回答結果を横に並べて確認することもできます。また、センター同士を比較するだけでなく、地域包括支援センターと区や市の結果と比較することで、市内の立場による認識の違いを確認することもできます。
- 比較の結果重要なことは、優劣や順位ではなく、「ずれがどこにあるか」がわかることです。
- 評価の結果を見るときは、比較する対象とのずれ（差の大きい項目）を洗い出します。その上で、評価の良い項目、評価の低い項目それぞれについて、どのような理由・要因でそのような結果が出たのか検討します。

2. 川崎市における事業評価・事業計画作成の方針

(1) 地域包括支援センターと行政の双方向の関係

■ 川崎市のありたい姿

- 第9期かわさきいきいき長寿プランでは、団塊ジュニア世代が後期高齢者となる2040年への備え等を見ずえ、5つの重点目標を設定しました。

<第9期計画で推進する重点事項>

- ① 自立支援・重度化防止の推進 ② 個別支援の充実と地域力の向上 ③ ニーズに応じた介護基盤の整備
- ④ 認知症施策の推進 ⑤ 介護人材の確保・定着

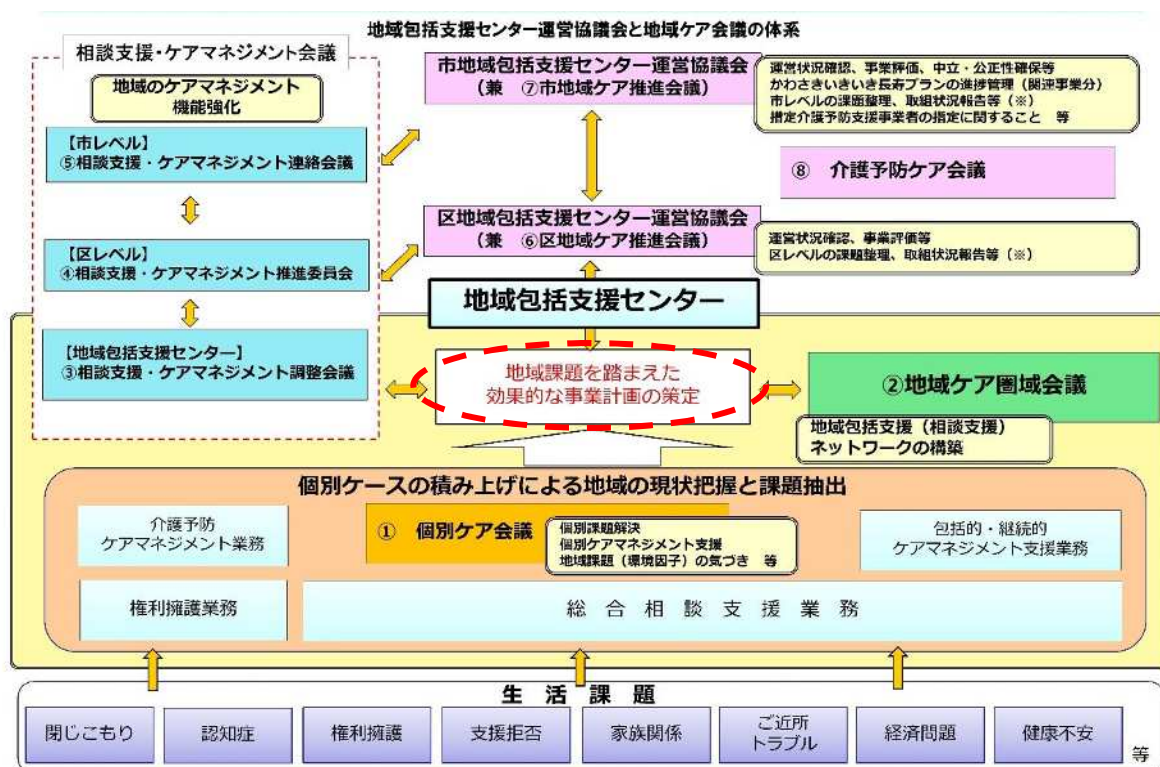
■ 地域包括支援センターは川崎市の保険者機能の一翼

- 地域包括支援センターの機能は、川崎市の保険者機能の一翼を担っており、地域包括支援センターの日々の活動は「川崎市の保険者機能」と密接につながっています。例えば、地域包括支援センターの事業計画は、地域包括ケア推進の中心に位置づいています。
- そのため、地域包括支援センター業務の評価・改善は、行政の取組への評価・改善と「双方向」で「一体的」かつ「連続性を持って継続的」に取り組む必要があります。
- 地域の課題は簡単に解決しないものばかりです。スモールステップを意識して、粘り強く成功体験を積み重ねながら、川崎市全体で地域包括ケアの推進に取り組んでいきましょう。

«事業評価に必要な姿勢»

- ① 地域包括支援センターと行政が、双方向でお互いに気づかせ合う姿勢
- ② 合意形成
- ③ 少しずつでも取組を改善していく意思

図 事業計画は地域包括ケア推進の中核を担っている

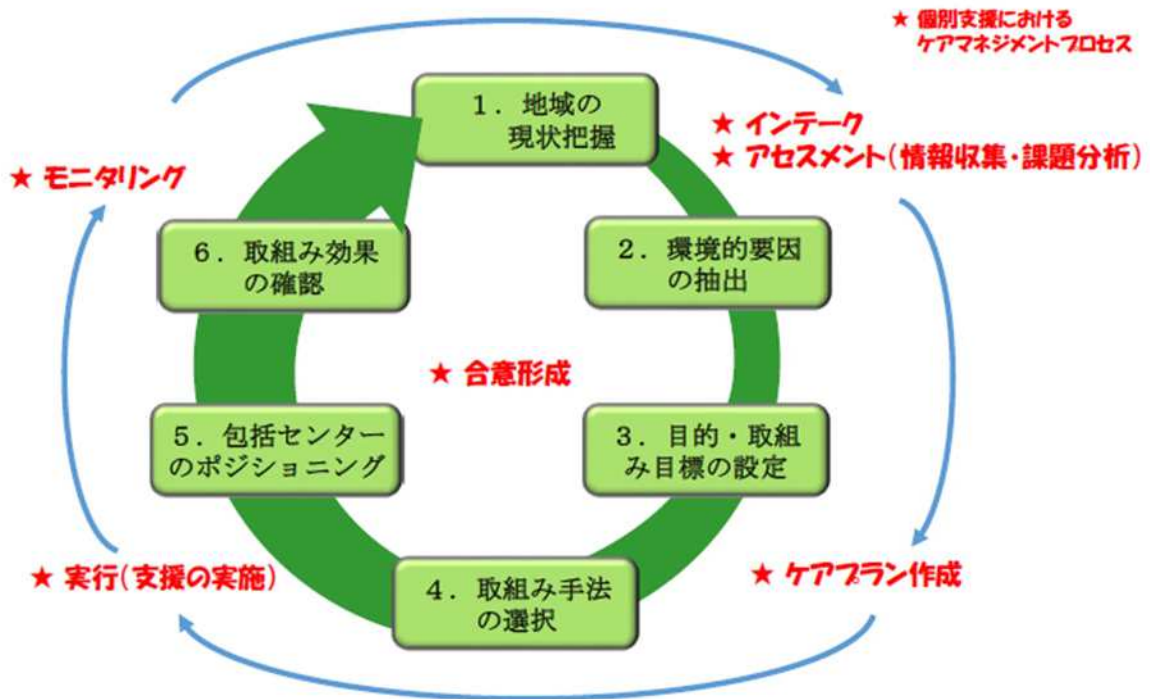


(2) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務「環境整備」の流れの活用

■「環境整備」の6つのプロセスに沿って実施

- 地域包括支援センターにおける事業評価は、包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備の取組の流れと共通しています。そのため、事業評価を実施する際は、環境整備で実施しているプロセス（下記図）を意識して実施します。
- このプロセスは、「なにをするか？」（取組手法の選択）ではなく、「なぜやるのか？」（現状把握）から始まるという点で、個人を対象としたケアマネジメントのプロセスとも共通しています。
- また、取組を進める中で地域住民や関係者との合意形成をしながら進めていく必要がある点もケアマネジメントと似ています。
- このように、事業評価・事業計画の作成は、普段の業務と全く異なることをするのではなく、ケアマネジメントでの考え方を活用して取り組みます。包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備の取組と地域包括支援センターの事業評価・事業計画作成は一体的に進めていきます。

図 環境整備（地域課題解決）の実践プロセス



出典令和3年度川崎市地域包括支援センター現任研修（社会福祉法人川崎聖風福祉会 中澤伸氏）「地域包括支援センター運営マニュアル 3訂」に加筆

■ 環境整備（地域課題解決）のプロセスを実践するために実施すべきこと

- 環境整備（地域課題解決）のプロセスを実践するために、川崎市として、次の3点を意識して事業評価、事業計画を作成します。

《意識して実施すべきポイント》

- ① 普段の業務における取組みの目的を明確にする
- ② 取組みの目的や見つけた地域の問題、課題を記録に残す
- ③ 地域包括支援センターだけでなく、行政と協働して取り組む

- 「普段の業務における取組の目的を明確にする」ことは、目指す姿（ありたい状態）を定めることです。
- 「取組の目的や見つけた地域の問題、課題を文字に残す」ことは、取組みの継続性を担保するために重要です。

取組の始まった時期には目的や問題、課題意識が明確でも、時間が経ったり関係者が増えてくると、当初の目的があいまいになることがよくあります。評価を実施するときにも、目的が記録されていないと評価自体が難しくなります。

- 「地域包括支援センターだけでなく、行政と協働して取り組む」ことは、多岐に渡る地域の課題を解決するために必要なことです。そのためにまずは関係者と問題、課題認識、取組の目的を共有します。その際、上記で残した記録を活用できます。また、事業評価の結果も対話の材料として活用できます。

(3) 「市事業評価」と「国事業評価」の活用

■ 川崎市の事業評価は「国事業評価」と「市事業評価」の2本柱

- 地域包括支援センターでは、全国統一の指標による評価（国事業評価）とともに、川崎市独自の評価（市事業評価）を併せて実施します。
- 国事業評価では、主に地域包括支援センターの体制や運営の状況を明らかにします。市事業評価では、地域包括支援センターの個別の取組の状況や、把握している地域課題を整理します。

図 川崎市の事業評価の構成



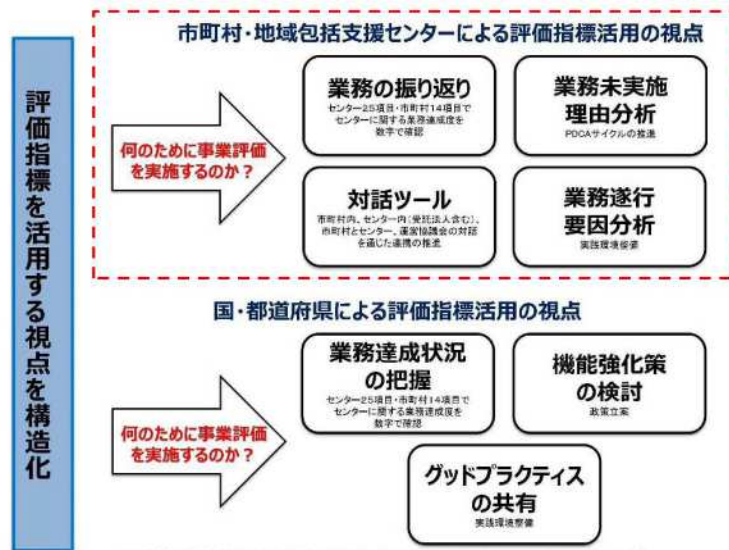
■ 事業評価はどのように活用するのか

- 地域包括支援センターや市町村が事業評価を活用する方法は、全国統一の指標による評価では、4つの視点として整理されています。

«評価指標を活用する視点»

- ① 業務の振り返り
……評価を実施する過程で、業務を振り返る
- ② 対話ツール
……評価結果を用いてセンター内の職員間や区や市と対話する
- ③ 業務未実施の理由分析
……業務が予定通りにいかなかった場合に、運営方針や事業計画の見直しにつなげる
- ④ 業務遂行の要因分析
……業務がうまく実施できた場合にその要因を分析することで、人員体制の強化等、実践環境の整備の推進につなげる

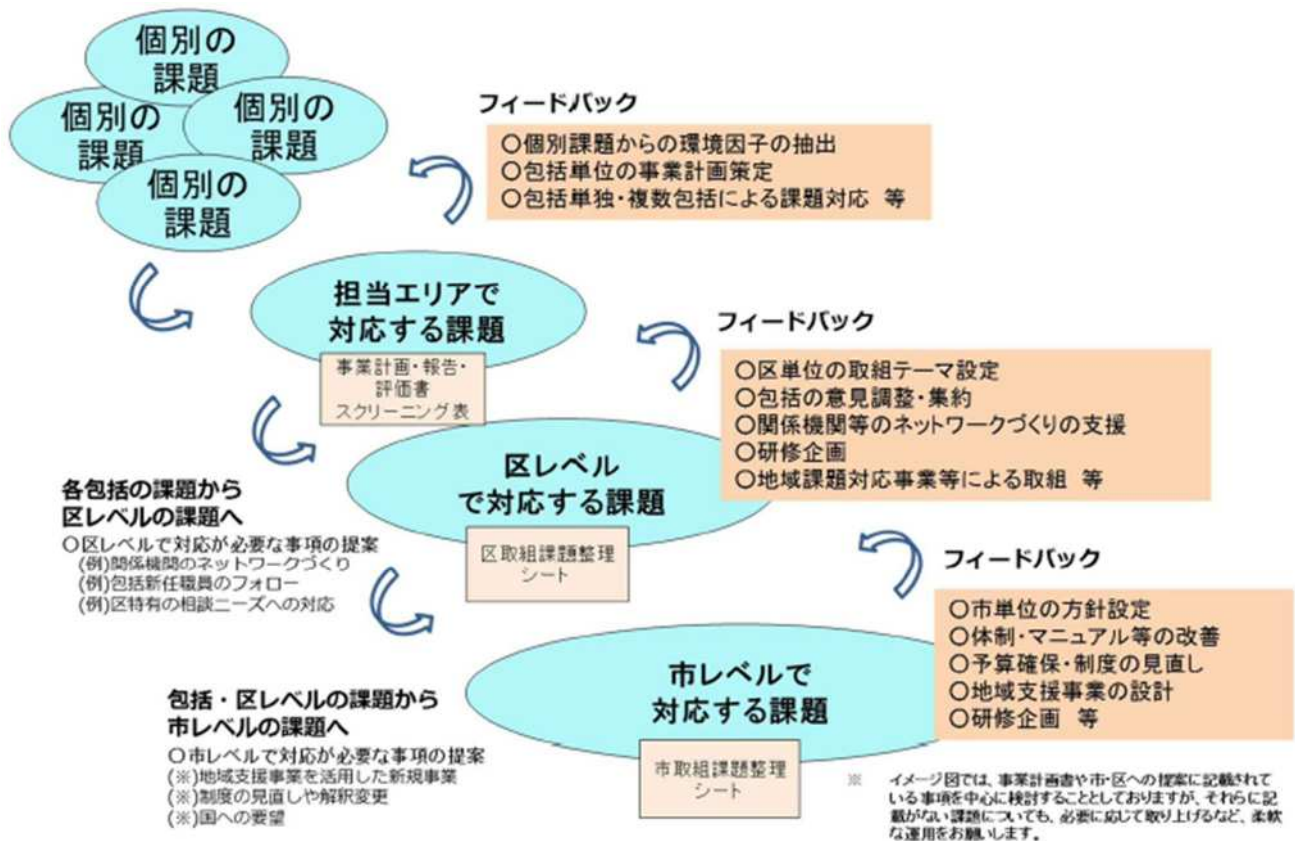
図 評価指標を活用する視点



出典「評価指標活用の手引き」令和2（2020）年3月（三菱UFJリサーチ&コンサルティング）に川崎市加筆

- 市事業評価で明らかにした地域包括支援センターの個別の取組の状況や地域課題は、地域包括支援センター、区、市がそれぞれ課題の整理に活用されます。
- 地域包括支援センターが実施した事業評価は、区や市でとりまとめ、センター個別の課題、担当エリアで担当する課題のほかに、区レベルで対応する課題、市レベルで対応する課題とに分けて整理されます。
- また、整理した課題をもとにどのような取組を計画・実施したかは、地域包括支援センターにフィードバックされます。
- 地域包括支援センターの事業評価、事業計画は、区や市が地域に根差した取組の計画を立てるための重要な要素の一つです。

図 事業評価、事業計画で整理された課題は、区や市の取組にも反映される



★地域包括支援センターの事業評価シートから市レベルでの対応へ広がった事例

・地域包括支援センターが事業評価の「市・区への提案」に、虐待対応について記載しました。

「虐待の判断基準が包括・区役所でばらつきがある。何か対策が必要ではないか？」

・記載を受けて区が地域包括支援センターにヒアリングしたところ、各センターによって緊急性や虐待の有無の判断にばらつきがあるという状況が明らかになりました。そこで区は虐待対応時の判断の基準を示すことを課題として市に報告しました。

・報告書を受けて、市が各区にヒアリングを行っていくと、区によっても状況が異なることが明らかになりました。「緊急性」及び「虐待の有無」についてより適切に判断がなされるには、1センターや1区の対応ではなく、市としてリスクをアセスメントするための統一の様式が必要であると考えられました。

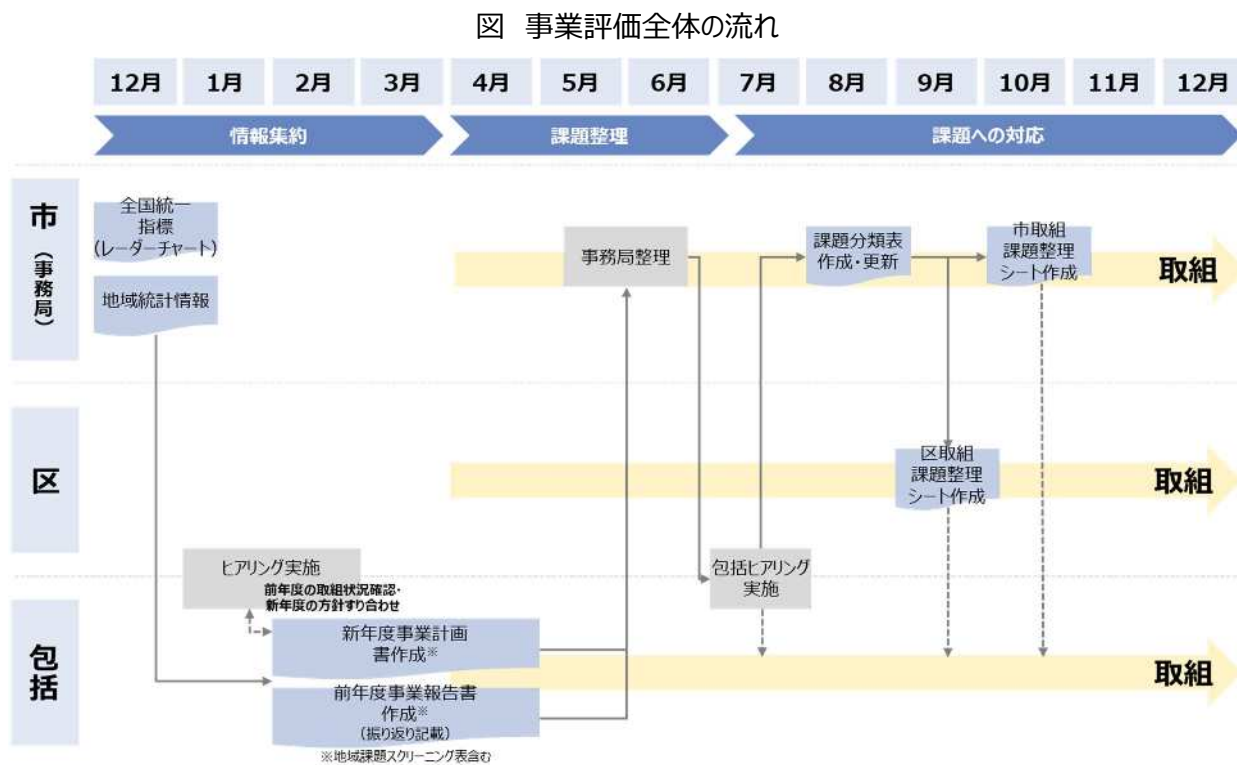
・この流れをうけて、令和3年度に地域包括支援センター、区、市の職員の3者で検討が始まり、令和4年10月1日には、市全体で、新たな様式として「危害リスク確認シート」及び「安全探しシート」が導入されることになりました。

※同時に令和4年3月からは新しく「川崎市高齢者虐待対応マニュアル ver.5」が改訂されている

3. 評価の流れ・スケジュール

(1) 事業評価全体の流れ

- 事業評価全体の流れは以下のとおりです。地域包括支援センター、及び区・市の担当職員は、以下の流れでそれぞれ事業評価の対応を実施していきます。



(2) 地域包括支援センターの対応スケジュール

- 地域包括支援センターでは、以下のスケジュールに沿って市事業評価及び国事業評価についての対応を実施してください。

図 地域包括支援センターの対応スケジュール

| | 市事業評価 (センターの取組状況、地域課題整理) | 国事業評価 (体制・運営状況等) ※全国統一指標 |
|-----|--|--|
| 12月 | ●次年度運営方針案及び地域統計情報の提供 【市⇒区・地域包括支援センター】※2月までに提供 | ●全国統一指標による国事業評価の結果通知 【市⇒区・地域包括支援センター】 |
| 1月 | ●ヒアリング（前年度の取組状況確認・新年度の方針すり合わせ） 【区⇒地域包括支援センター】 | |
| 2月 | | |
| 3月 | ●地域包括支援センター事業計画書等の作成 【地域包括支援センター】 | |
| 4月 | | |
| 5月 | ●地域包括支援センター事業計画書等の提出 【地域包括支援センター⇒区⇒市】 | ●国事業評価シート回答 【地域包括支援センター】 |
| 6月 | ●包括ヒアリング（事業計画書記載内容の確認） 【区⇒地域包括支援センター】 | |
| 7月 | | |
| 8月 | ●課題分類の作成・更新 【市】 | |
| 9月 | ●区取組課題整理シートの提出 【区⇒市】 | |
| 10月 | ●市取組課題整理シートの作成 【市】 | |
| 11月 | ●市・区への提案事項への対応状況等のフィードバック 【市⇒区⇒地域包括支援センター】 | |

※グレー字の取組については市または区が中心となって対応を行うものですが、地域包括支援センターにもご協力をお願いする点がございますので、一連の動きとしてご認識ください。

図 (参考) 市・区の対応スケジュール

| | 市事業評価 (センターの取組状況、地域課題整理) | 国事業評価 (体制・運営状況等) ※全国統一指標 |
|-----|--|--|
| 12月 | ●次年度運営方針案及び地域統計情報の提供 【市⇒区・地域包括支援センター】※2月までに提供 | ●全国統一指標による国事業評価の結果通知 【市⇒区・地域包括支援センター】 |
| 1月 | | ●ヒアリング(前年度の取組状況確認・新年度の方針すり合わせ) 【区⇒地域包括支援センター】 |
| 2月 | | |
| 3月 | ●地域包括支援センター事業計画書等の作成 【地域包括支援センター】 | |
| 4月 | | |
| 5月 | ●地域包括支援センター事業計画書等の提出 【地域包括支援センター⇒区⇒市】 | ●国事業評価シート回答 【地域包括支援センター】 |
| 6月 | | ●包括ヒアリング(事業計画書記載内容の確認) 【区⇒地域包括支援センター】 |
| 7月 | | |
| 8月 | ●課題分類の作成・更新 【市】 | |
| 9月 | ●区取組課題整理シートの提出 【区⇒市】 | |
| 10月 | ●市取組課題整理シートの作成 【市】 | |
| 11月 | ●市・区への提案事項への対応状況等のフィードバック 【市⇒区⇒地域包括支援センター】 | |

※黒字：市が中心となって対応する内容 青字：区が中心となって対応する内容

4. 市事業評価（センターの取組状況の確認、地域課題の整理）の手順

（1）市からの次年度運営方針案と地域統計情報の提供（2月）

- 【市】市地域包括ケア推進室から、次年度運営方針案及び相談支援・ケアマネジメント実施方針案と、地域統計情報の提供を行います。
- 【区・地域包括支援センター】市地域包括ケア推進室から提供された方針案を確認しながら、区及び地域包括支援センターで検討中の次年度の取り組み内容とすり合わせを行ってください。
- 【区・地域包括支援センター】次の（2）の次年度実施計画策定に向けて、市地域包括ケア推進室から提供された地域統計情報を確認するとともに、区及び地域包括支援センターとして収集している地域からの情報や総合相談の傾向等について、情報の整理と区及び地域包括支援センター内での共有を進めておいてください。

図 市から提供される地域統計情報例

| 担当包括名 | 高齢化率 | 人口 | 高齢者人口 | 前期高齢者 (65-74) | 後期高齢者 (75-) | 事業対象者 | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 要支援者計 | 要介護者計 | 認定者計 |
|-------|-------|--------|-------|------------------|----------------|-------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|
| ○○包括 | 26.8% | 23,887 | 6,412 | 3,183 | 3,229 | 23 | 51 | 35 | 64 | 93 | 87 | 118 | 168 | 86 | 530 | 616 |
| △△包括 | 20.3% | 32,419 | 6,594 | 3,285 | 3,309 | 43 | 71 | 53 | 100 | 64 | 78 | 110 | 107 | 124 | 459 | 583 |
| □□包括 | 20.3% | 28,928 | 5,862 | 2,807 | 3,055 | 28 | 58 | 54 | 77 | 82 | 85 | 109 | 106 | 112 | 459 | 571 |
| | 15.2% | 28,154 | 4,278 | 2,276 | 2,002 | 22 | 43 | 30 | 55 | 58 | 56 | 74 | 95 | 73 | 338 | 411 |
| | 27.0% | 25,247 | 6,829 | 3,363 | 3,466 | 19 | 64 | 46 | 86 | 94 | 76 | 94 | 131 | 110 | 481 | 591 |
| | 21.9% | 26,717 | 5,863 | 2,767 | 3,096 | 31 | 37 | 61 | 53 | 98 | 80 | 105 | 116 | 98 | 452 | 550 |
| | 22.3% | 25,409 | 5,830 | 2,709 | 3,121 | 28 | 68 | 30 | 79 | 79 | 88 | 113 | 131 | 98 | 490 | 588 |
| | 25.5% | 18,959 | 4,830 | 2,286 | 2,544 | 26 | 50 | 39 | 82 | 63 | 58 | 95 | 117 | 89 | 415 | 504 |
| | 23.8% | 22,612 | 5,377 | 2,560 | 2,817 | 27 | 51 | 64 | 61 | 63 | 70 | 103 | 109 | 115 | 406 | 521 |
| | 17.5% | 32,228 | 5,633 | 2,821 | 2,812 | 28 | 49 | 38 | 70 | 55 | 80 | 82 | 119 | 87 | 406 | 493 |
| | 22.8% | 33,933 | 7,729 | 3,615 | 4,114 | 53 | 76 | 56 | 113 | 104 | 97 | 143 | 147 | 132 | 604 | 736 |
| | 19.4% | 33,345 | 6,483 | 3,055 | 3,428 | 39 | 68 | 53 | 86 | 85 | 74 | 116 | 104 | 121 | 465 | 586 |
| | 17.8% | 36,397 | 6,465 | 3,421 | 3,044 | 60 | 59 | 37 | 78 | 58 | 76 | 105 | 124 | 96 | 441 | 537 |
| | 26.2% | 22,816 | 5,979 | 2,804 | 3,175 | 44 | 55 | 32 | 58 | 66 | 86 | 92 | 110 | 87 | 412 | 499 |
| | 34.9% | 13,528 | 4,715 | 1,672 | 3,043 | 27 | 50 | 46 | 60 | 58 | 76 | 94 | 83 | 96 | 371 | 467 |
| | 16.5% | 40,626 | 6,707 | 3,128 | 3,579 | 45 | 41 | 53 | 65 | 67 | 68 | 117 | 109 | 94 | 426 | 520 |
| | 16.1% | 43,021 | 6,910 | 3,520 | 3,390 | 34 | 39 | 36 | 71 | 64 | 67 | 94 | 124 | 75 | 420 | 495 |
| | 17.9% | 39,683 | 7,110 | 3,413 | 3,697 | 47 | 53 | 51 | 83 | 75 | 74 | 107 | 125 | 104 | 464 | 568 |
| | 16.7% | 39,826 | 6,658 | 3,205 | 3,453 | 55 | 40 | 50 | 46 | 61 | 59 | 104 | 112 | 90 | 382 | 472 |
| | 14.8% | 46,152 | 6,849 | 3,352 | 3,497 | 43 | 30 | 60 | 69 | 76 | 80 | 119 | 128 | 90 | 472 | 562 |
| | 13.2% | 51,349 | 6,761 | 3,414 | 3,347 | 35 | 49 | 51 | 46 | 59 | 58 | 89 | 107 | 100 | 359 | 459 |
| | 21.1% | 29,329 | 6,189 | 2,872 | 3,317 | 38 | 57 | 44 | 71 | 84 | 88 | 106 | 95 | 101 | 444 | 545 |
| | 17.2% | 38,106 | 6,561 | 3,351 | 3,210 | 39 | 48 | 49 | 72 | 79 | 87 | 86 | 108 | 97 | 432 | 529 |
| | 15.8% | 35,926 | 5,665 | 2,758 | 2,907 | 35 | 45 | 46 | 58 | 59 | 58 | 76 | 104 | 91 | 355 | 446 |
| | 17.2% | 37,802 | 6,494 | 3,514 | 2,980 | 44 | 58 | 40 | 63 | 62 | 62 | 81 | 102 | 98 | 370 | 468 |
| | 27.1% | 27,781 | 7,537 | 3,376 | 4,161 | 43 | 79 | 56 | 92 | 97 | 114 | 139 | 140 | 135 | 582 | 717 |
| | 17.1% | 37,107 | 6,362 | 3,004 | 3,358 | 33 | 65 | 65 | 86 | 95 | 82 | 122 | 108 | 130 | 493 | 623 |
| | 20.3% | 24,288 | 4,926 | 2,212 | 2,714 | 27 | 50 | 37 | 42 | 80 | 60 | 72 | 84 | 87 | 338 | 425 |
| | 24.2% | 31,583 | 7,629 | 3,369 | 4,260 | 8 | 55 | 51 | 98 | 115 | 98 | 136 | 140 | 106 | 587 | 693 |
| | 25.1% | 24,322 | 6,102 | 2,607 | 3,495 | 31 | 36 | 45 | 78 | 92 | 112 | 117 | 118 | 81 | 517 | 598 |
| | 20.9% | 35,763 | 7,464 | 3,537 | 3,927 | 25 | 46 | 62 | 80 | 108 | 90 | 103 | 107 | 108 | 488 | 596 |
| | 17.5% | 46,980 | 8,200 | 4,269 | 3,931 | 29 | 52 | 77 | 82 | 98 | 111 | 148 | 101 | 129 | 540 | 669 |
| | 27.1% | 24,017 | 6,509 | 2,857 | 3,652 | 16 | 51 | 62 | 87 | 100 | 98 | 102 | 78 | 113 | 465 | 578 |
| | 14.7% | 40,650 | 5,961 | 3,036 | 2,925 | 17 | 33 | 45 | 65 | 81 | 87 | 85 | 66 | 78 | 384 | 462 |

(2) 地域包括支援センター事業計画書（現年度）の作成（2月～5月）

- 【地域包括支援センター】次の①～⑥を参考にして、地域包括支援センター事業計画書を作成してください。
- 【区】地域包括支援センターの事業計画書作成を適宜支援してください。

① 担当圏域の特徴の作成

市から提供されるデータ、圏域ごとの地区カルテ、普段業務から積み上げた「総合相談の傾向」や地域ケア圏域会議などの意見をもとに担当圏域の特徴を作成します。地区名については、基本は町名単位で記載することとしますが、地区カルテとの整合性や町会・自治会などの事情を含め、柔軟に対応することが可能です。地区割りについては区とのヒアリング等で行政とも意識合わせをしていただくようお願いします。

図 「担当圏域の特徴」の記載フォーマット

(1)人口等

| | | | | |
|------------|------------|------------|------------|------------|
| ①人口 人 | ②高齢化率 % | ④65歳以上人口 | | |
| | | 前期高齢者 人 | 後期高齢者 人 | |
| ⑤要支援1 人 | ⑥要支援2 人 | | | |
| ⑦要介護1 人 | ⑧要介護2 人 | ⑨要介護3 人 | ⑩要介護4 人 | ⑪要介護5 人 |

(2)担当圏域の状況

| 地区名 | 地理的環境・特徴 | 地域活動・地域団体 | 環境 (福祉・生活・医療) | 地域からの意見や課題 | 総合相談における傾向 |
|-----|----------|-----------|------------------|------------|------------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

(1) 人口等

市から提供される情報を記入。

(2) 担当圏域の状況

《地区名》

…町名単位を目安とし、地域特性に応じて、区・地域包括支援センターの協議により定める。

《地理的環境・特徴》

…立地、地形、交通インフラ（主要道路、交通機関（バス、電車））の状況を記載する。

《地域活動・地域団体》

…地域活動、地域団体（民生委員、老人会、掲示板、回覧板、ボランティア・NPO）の状況及び、地域包括支援センターとの連携状況を簡潔に記載する。

《環境（福祉・生活・医療）》

…福祉（福祉・介護施設）、生活（スーパー・商店街・商店、集会場、公園）、医療（病院・診療所、薬局、訪問看護ステーション）の地域環境及び、地域包括支援センターとの連携状況を簡潔に記載する。

《地域からの意見や課題》

…地域住民、地域団体、関係機関、地域の介護支援専門員等から確認した意見や地域の困りごとを記載する。

《総合相談における傾向》

…当該地区における相談の傾向や特徴を記載する。

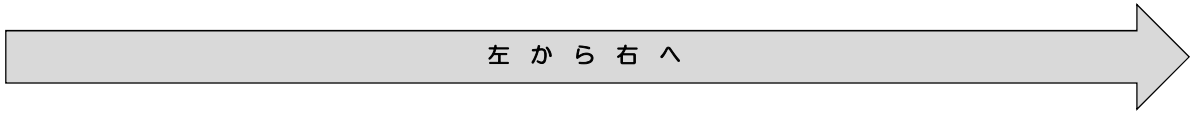
② 地域課題スクリーニング表（事業計画別表）の作成

地域で発生している問題や課題意識等について、問題の背景の整理や、普遍性や必要性、地域包括支援センターのポジショニングなどを考慮したうえで、地域課題を整理します。「取り組むべき課題」に関しては、地域包括支援センターで新たに取り組む課題の抽出だけではなく、現在取り組んでいる取組に対しての方向性を検討・整理する観点からも記載をしてください。

なお、本表を作成することをおして各地区の特徴や課題を改めて考えて頂くことを目的としているため、前頁の「担当圏域の特徴」で分類した地区ごとに地域課題についても検討してください。その上で、複数の地区に共通する地域課題については、まとめて記載して頂いても問題ありません。

図 「地域課題スクリーニング表（事業計画別表）」の記載フォーマット

| # | 地域名 | ①地域の課題点（気づき） ※「誰が」「何に」思っているかを記載 | ② ①がなぜ課題だと思ったか ・裏づけとなる事実や地域の声 | ③（仮称：対象者） ④⑤で記載した課題の具体的な対象者像 ・～～～な人たちが困っている ・～～～な人たちが多岐多岐する可能性が高い など | ⑥現在の取組状況と課題意識 | | | | ⑦チェック項目 | | | | ⑧優先順位 | | | | ⑨包括記載事項（各年度末のヒアリング・評価時に記載） | | | | | | | |
|---|------|------------------------------------|----------------------------------|---|--|----------------------|----------------|-----------------------|---------|---------------|------------------|----------|--|----------|---|--|----------------------------|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | ⑥⑦の対応者への働きかけの状況と取組における課題・留意点 現在～～～を対象に～～～をしているが、～～～が難しい など ※課題・取組の記載の指針 支援者像・実施体制、地域・地域性、住民意識、制度・システム | ⑧地域で同じような取組が実施されているか | ⑧地域全体で対応すべき課題か | ⑧地域包括支援センターが取り組むべき課題か | ⑧優先順位 | ⑧誰がどのように対応するか | ⑧※④で選定したものに對して記載 | ⑧R4年度の取組 | ⑧R4年度の取組から得られた気づき ※想定していた対象者にアプローチすることができず、対象者像が明確になったか ※④について新たに発見できたことがあるか 等 | ⑧次年度の方向性 | ⑧（翌年度記載）ステータス ・完了 ・保留 ・変更・統合（移動先を記載） | | | | | | | | | |
| 1 | 〇〇地区 | 計画時には、ここを記載する | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | □□地区 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | △△地区 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |



★地域課題を整理する意義とは

地域課題を整理することは、限られた時間・マンパワーの中で取り組むべき内容に優先順位をつけることができるとともに、現在実施している（あるいは、これから実施する）取組の「意味」を再確認することができるという点で有効です。

＜地域課題の整理による効果（地域包括支援センター職員の声）＞

- ・ しっかりと地域課題整理を行い、その内容を次年度の事業計画に反映することで、優先順位をつけた対応を行うことができる。その結果、事業をスムーズ・効果的に進めることができるようになり、業務負担軽減にも繋がる。
- ・ 地域課題が、自分たちがどのような目的意識や役割をもって事業を実施しているかの1つの指標になる。日々の一つ一つの小さな取組（例えば、民生委員の方へのご挨拶 等）が、地域課題の解決に繋がるものであることを再確認できる。

- ・ **優先順位をつけることができる（負担軽減に繋がる）**
- ・ **地域の課題と今ある事業や地域の活動を「意味づけ」することで、効果的に取り組むことができる**

★具体的な対象者像を考える

地域課題を詳細に記載するためには、課題を抱えている（あるいは、地域包括支援センターとして施策を届けたいと考えている）住民がどのような方々なのかを具体的にイメージすることが重要になります。

例

<問題意識>

- 住民の方々による相談のタイミングが遅く、重症化・困難化してから介入を検討することになるケースが散見される。
- 早期に相談へ来て頂けるようにしたい。

<具体的な対象者像を考える>

当該地区において重症化・困難化してから相談に来られる住民はどのような方々か？

→ひとり暮らしで近隣や地域との関係が希薄な方々

→医療機関に定期受診をしていない方々（定期受診できている場合は、早期に医療機関から相談が入る）

- **地域（医療機関を含む）との関係が希薄な方々**からの相談が遅れ、重症化・困難化してからの介入となっている

★要望と課題の区別

住民の方々からの「○○してほしい」「○○がない」という声は要望であり、必ずしも課題（本当に解決すべきこと）と同じではありません。地域みんなの課題（地域課題）は何なのかを考えながら、記載を進めてください。



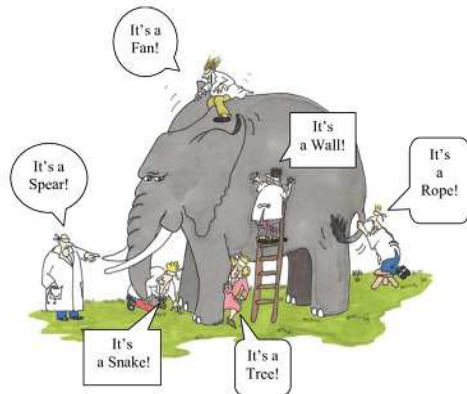
重要なのは、地域みんなの課題（地域課題）は何かを見極めること

★有効な打ち手（解決策）が思い浮かばない課題も書き出しておく

多様な主体の協働による課題解決においては、まずは課題の共有が重要といわれています。地域課題スクリーニング表の記載内容は、市・区の課題整理に反映され、様々な場（地域包括支援センター運営協議会等）で共有されます。有効な打ち手（解決策）が思い浮かばない課題についても、地域課題スクリーニング表に記載しておくようにしましょう。

課題共有から始める理由 ①

地域包括支援センターと、行政や地域のさまざまな関係者では見えている物の見方や考え方が違うため、前提となっている情報や条件が同じではなく、話し合いにおいてズレが発生しやすい（いわゆる、「群盲象を撫でる」）



課題共有から始める理由 ②

課題を解決する力は、包括や役所だけではなく、「地域社会」も持っているもの



《地区名》

…「1 担当圏域の特徴」で定めた地区名や、複数地区にまたがる場合には複数地区名を記載。また、「①地域の
問題点（気づき）」の内容によっては、その内容に応じて更に小さい特定のエリア（例 ××地区〇〇団地）等
を記載する。

《① 地域の問題点（気づき）》

…発生している問題や、問題だと思うことを、「誰が」「何に」困っているかを明確にしながらか記載。

《② ①がなぜ問題だと思ったか・裏づけとなる事実や地域の声》

…①の問題点について、地域包括支援センターから見てなぜ問題だと思ったか、裏づけとなる情報や地域住民・
関係者からの声、その問題によってどんな状態の方が何に困っているか等、問題の背景等を記載。
異なる要因や背景が3つ以上ある場合には、行を追加。

《（仮説：対象者）①②で記載した問題の具体的な対象者像》

…①②で記載した問題について、具体的にどのような対象者像を想定しているか、記載。

《（現在の取組状況と問題意識）①②の対象者への働きかけの状況と取組における問題・困りごと》

…想定している対象者について、現在の働きかけ・取組の状況と働きかけをするための問題等を記載

《③ チェック項目 ※該当する場合に「〇」》

②で整理した問題の要因や背景について、下記の視点で該当する項目にチェックを行う。

「地域で同じような困りごとが複数あるか」（普遍性）

…特定の個人だけの問題（支援者側の問題を含む）ではなく、地域で複数の人の困りごとにつながっている問題
であるか。

「地域全体で対応すべき問題か」（社会性・社会的有用性）

…地域住民の生活に広く影響する問題であり、解決することで当該地区の地域包括ケア推進につながるか。

「地域包括支援センターが対応すべき問題か」

…地域包括支援センターが中心となって取り組むべき問題であるか。

《④優先度 ※優先度が高い項目に「〇」》

…実現可能性や関係者の関心度等を考慮して、「地域包括支援センター」が優先的に取り組む課題を抽出。

《⑤取り組むべき課題》

…④で地域包括支援センターが取り組む優先度が高いと判断した課題について、具体的な取組内容を記載。

③ 基本方針・重点目標の記入

- ①、②の記入内容を踏まえ、地域包括支援センターにおける重点目標を設定してください。その際には、①、
②で整理した課題認識・優先順位と、基本方針・重点目標に一貫性があるか確認してください。

④ 職員体制の状況の記入

各年 4 月 1 日時点の職員体制を記入してください。

| |
|---|
| <p>《センター長》 …包括内のセンター長の氏名を記載、三職種として配置されている資格を○印を付ける。</p> <p>《三職種職員配置》 …包括内の三職種として配置されている職員の氏名を記載、資格を○印を付ける。</p> <p>《地域支援強化要員》 …包括内の地域支援強化要員として配置されている職員の氏名を記載、資格を○印を付ける。</p> <p>《非常勤職員配置》 …包括の非常勤職員として配置されている職員の氏名を記載、資格保有している場合は、該当する資格に○印を付ける。</p> |
|---|

⑤ 基本的事項の記入

前年度の事業報告・評価書（参照：P.27～P.29）、国事業評価（参照：P.34～P.35）の結果を踏まえた上で、当該年度の項目別の事業計画を記入してください。記入にあたっては、②で作成した地域課題スクリーニング表の記載内容と整合していることを確認してください。

〈1〉チームアプローチの確立

| 事業計画 | 事業報告(自地域包括支援センターが実施している事柄のうち、効果を上げていると評価できること) | 現状・課題(今後、取組を強化・充実していくべきこと) |
|---------------|--|----------------------------|
| 計画時には、ここを記載する | | |

⑥ 年間事業計画の記入

年間で予定している事業計画を入力してください。共催や後援で予定している事業については、その他事業に入力してください。なお、各事業の開催時期等については、本計画記載時に決まっている範囲で記載してください。

図 「年間事業計画」の記載フォーマット

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|
| 主催事業 | | | | | | | | | | | | |
| 地域ケア会議 (相談支援・ケア マネジメント関 連会議含む) | | | | | | | | | | | | |
| その他 事業 (共催・後援を含 む) | | | | | | | | | | | | |
| 研修 | | | | | | | | | | | | |

(3) 地域包括支援センター事業報告・評価書（前年度）の作成（4月～5月）

- 【地域包括支援センター】次の①～⑤を参考にして、前年度の地域包括支援センター事業報告・評価書を作成してください。
- 【区】地域包括支援センターの事業報告・評価書作成を適宜支援してください。

① 地域課題スクリーニング表（事業計画別表）の振り返りの記入

前年度の地域課題スクリーニング表の記載内容に対応する「取組」「気づき」「次年度の方向性」を記入してください。

図 「地域課題スクリーニング表（事業計画別表）」の記載フォーマット

| # | 地域名 | ①地域の課題点（気付き） ※「誰が」「何に」寄っているかを記載 | ② ①がなぜ問題だと 思ったか ・裏づけとなる事実や地域の声 ～～相談があった、～～という声を聞いた、～～の支援において困難を感じた など | ③（仮称：対象者） ④⑤で記載した課題の 具体的な対象者像 ・～～人たちが困っている ・～～人たちが今遭遇する可能性が高い など | ⑥（現在の取組状況と問題意識） ⑦⑧の対象者への働きかけの状況と取組における課題・困りごと 現在～～を対象に～～をしているが、～～が難しい など ※課題・困りごとの記載の現由 支援者側・支援体制、地域・地域性、住民意識、制度・システム | ③チェック項目 | | | | ④優先度 ・誰がどのように対応するか ※④で選択したものに對して記載 | 包括記載事項（各年度末のヒアリング・評価時に記載） | | | | |
|---|------|------------------------------------|--|--|---|-------------------------|--------------------|-------------------------------|---------------------|--|---------------------------|---|---------|--|--|
| | | | | | | ⑨地域で同じような 困りごとが複数あるか | ⑩地域全体 で対応すべき課題か | ⑪地域包括 支援センターが取り 組むべき課題か | ⑫⑬で 選定したものに對して記載 | | R4年度の取組 ※事業計画との対応を記載 | R4年度の取組から得られた気づき ※想定していた対象者にアプローチすることができたか、対象者像が明確になったか、課題について新たに発見できたことがあるか、等 | 次年度の方向性 | （翌年度記載） ステータス ・完了 ・保留 ・変更・統合（移動先を記載） | |
| 1 | ○○地区 | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | □□地区 | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | △△地区 | | | | | | | | | | | | | | |

報告・評価時には、ここを記載する

② 基本的事項の記入

前年度計画の「事業報告」、「現状・課題（次年度取り組んでいくべき課題）」を記入してください。

〈1〉チームアプローチの確立

| 事業計画 | 事業報告（自地域包括支援センターが実施している事柄のうち、効果を上げていますと評価できること） | 現状・課題（今後、取組を強化・充実していくべきこと） |
|------|---|----------------------------|
| | 報告・評価時には、ここを記載する | |

③ 地域包括支援センター自己評価のまとめの記入

前年度の自己評価及び課題と、それを踏まえて次年度（当該年度）の取組方針を記入してください。

図 「地域包括支援センター自己評価のまとめ」の記載フォーマット

| |
|------------|
| 【総合自己評価】 |
| 【課題】 |
| 【次年度の取組方針】 |

④ 市・区への提案の記入

市・区に対する提案内容を入力してください。それぞれの提案に関して、「提案先又は関係者」の欄まで入力してください。（区への提案か、市への提案か、分かるように記載してください。また、判明していれば部署名まで記載してください。）

図 「市・区への提案」の記載フォーマット

| 提案事項 | 提案の背景・理由 | 提案先又は関係者 |
|------|----------|----------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

⑤ 年間事業報告の記入

実施した事業の実績を入力してください。共催や後援で予定している事業については、その他事業に入力してください。

図 「年間事業報告」の記載フォーマット

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|
| 主催事業 | | | | | | | | | | | | |
| 地域ケア会議 (相談支援・ケア マネジメント調 整会議含む) | | | | | | | | | | | | |
| その他 事業 (共催・後援を含 む) | | | | | | | | | | | | |
| 研修 | | | | | | | | | | | | |

⑥ 地域ケア会議実施報告の記入

実施した地域ケア会議の実績を入力してください。

図 「地域ケア会議実施報告」の記載フォーマット

| | センターが実施した地域ケア会議の回数 | | 2 貴包括で果たしている地域ケア会議の機能についてあてはまるものを選択してください | | | | | | | | | |
|--------------|-------------------------|---|--|---------------------|---------------------------------|--|---------------------|--|-------------------------|--|---------------|--|
| 地域包括支援センター名 | (1) 令和〇年度の 会議開催回数 | (2) (1)のうち個別 事例について 検討する地域 ケア会議 * 個別課題の 解決、地域包括 支援ネットワー クの構築、地域 課題の意見の いずれかもしくは は全ての機能 を踏まえた会 議。 | (3) (1)の内、地域 課題を検討する 地域ケア会議 * 地域づくり・ 資源開発、政策 形成のいずれ かもしくはは全 ての機能を踏ま えた会議。 | (1) 個別課題解決 機能 | (2) 地域包括支援 ネットワーク構 築機能 | (3) (2)で「はい」と回答した市区 町村は具体的な内容を記載 | (4) 地域課題発見 機能 | (5) (4)で「はい」と回答した市区 町村は具体的な内容を記載 | (6) 地域づくり・資 源開発機能 | (7) (6)で「はい」と回答した市区 町村は具体的な内容を記載 | (8) 政策形成機能 | (9) (8)で「はい」と回答した市区町村 は具体的な内容を記載 |
| 〇〇地域包括支援センター | 5 | 3 | 2 | あり・なし | あり・なし | 「あり」と回答した包括のみ 記載 | あり・なし | 「あり」と回答した包括のみ 記載 | あり・なし | 「あり」と回答した包括のみ 記載 | あり・なし | 「あり」と回答した包括のみ 記載 |
| | | | | | | | | | | | | |

(4) 地域包括支援センター事業計画書（現年度）、事業報告・評価書（前年度）の提出（～5月）

- 【地域包括支援センター】5月未までに各区地域みまもり支援センター 高齢・障害課 高齢者支援担当に提出してください。
- 【区】各地域包括支援センターからの事業計画書（現年度）、事業報告・評価書（前年度）を取りまとめ、市地域包括ケア推進室に提出してください。なお、記載内容に不明点等がある場合は、各地域包括支援センターに記載事項について問い合わせをして確認してください。
- 【地域包括支援センター】市・区は、提出された事業計画書等に基づいて、次の（5）（6）のとおり取組課題の整理を進めます。その際に、事業計画書等の記載内容を正確に把握するためにヒアリングを行うことがありますので、都度対応をお願いします。

【提出書類】

- 地域包括支援センター事業計画書（現年度）
- 地域包括支援センター事業報告・評価書（前年度）

(5) 地域包括支援センターへのヒアリング（7月～8月）

- 【区・地域包括支援センター】事業計画書の記載内容を確認するにあたって、以下6項目のヒアリング項目に則り、区から地域包括支援センターに1時間程度の包括ヒアリング（対面またはオンライン）の実施をお願いします。地域包括支援センターが認識する地域課題を区全体で把握し対応にあたるため、「地域支援課」・「地域ケア推進課」にも同席いただいた上で、ヒアリングを実施してください。区・地域包括支援センターの相互の気づきを促す機会として包括ヒアリングを活用してください。

○ 図 包括ヒアリング項目

| ヒアリング項目 | |
|---------------------------|---|
| 担当圏域の特徴について | 担当圏域の特徴で変化があった内容について、背景や具体的な影響など |
| 基本方針・重点事項 | 前年度から見直した内容と、背景・狙いなど (※前年度事業計画・報告・評価の「自己評価」などを参考に) |
| 地域課題スクリーニング表に記載している課題について | ① 包括内で誰がスクリーニング表をどのように作成しているのか（センターや職員が把握している情報からどのように課題を抽出しているか） |
| | ② 特に優先して解決したい課題とその理由 |
| | ③ ①②で挙げた課題について、誰とどのように対応することが考えられるか |
| | ④ 前年度の課題整理の内容と比較して、地域の状況や課題の内容、課題の対応状況に変化はあるか（前年度からの変更部分は赤字） |
| スクリーニング表に記載していない課題について | 他に認識している課題はあるか ※課題検討の視点に偏りがいないか、認識が漏れている課題がないか確認してください |
| 「市・区への提案」について | 『3 基本的事項シート「10. 市・区への提案」』に記載されている中から1つ選び、ヒアリングを実施してください |

※高齢・障害課の領域に限らず、幅広くヒアリングしてください。

※上記項目に限らず、区として確認したい事項等があれば、適宜追加で質問してください。

★他課（地域支援課・地域ケア推進課）連携の重要性

課題整理の継続的・安定的な実施に向けては、高齢・障害課、地域支援課、地域ケア推進課間の連携が重要になります。

麻生区（高齢・障害課）・高津区（地ケア推進課）ヒアリング実施結果

| | |
|---|--|
| <p>麻生区 高齢・障害課 係長 ヒアリング結果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 他課が開催している会議に参加する等、他課からの依頼に対応することで関係性を構築している。物品の貸し借りといった場面も含め、日常的に他課に直接足を運んでコミュニケーションをとることを意識している。 ● 他課から求められている情報には、地区カルテ等の地域ごとの特性が分かる情報や地域づくりに関する情報が挙げられる。 ● 日頃の業務で忙しいが、地域づくりや企画は1年2年で芽が出るものではない。職員の異動が多い中で異動によって取組がリセットされないようするため、年度ごとの取組の整理だけでなく、検討の過程や取組プロセスを引き継ぐようなことが必要。課題を軸に整理するような形になるのではない。 ● 地域ケア推進課からは、包括に地域でのイベントに協力してほしいという依頼が来る（包括ヒアリングへの同席は包括への連絡・相談の場になるようだ）。しかし包括が便利屋的な扱いとならないよう、対象者等を確認し、包括業務と関連が薄いものは断っている。 |
| <p>高津区 地ケア推進課 係長 ヒアリング結果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 他課との日常業務での関わりはほとんどないが、「地域包括ケアシステム連絡会議」等の場で、地域支援課、高齢・障害課、地ケア推進課等が集まって情報を共有している。 ● 地ケア推進課では現場と関わる機会が少ないこともあり、地域づくりの文脈において、各包括の状況や各包括の持っている情報が把握できる「課題整理シート」を参考に情報を収集している。 ● 地ケア推進課は、地域のイベント開催等の業務が多く、これまで地域に出て情報を吸い上げることができておらず、データから見える地域課題を探すとどまっていた。今年度、包括ヒアリングに参加したことで、包括とふらっと話ができる機会となり、顔の見える関係性を構築できた。また、包括の地域での活動の工夫を知ること、地ケア推進課内でも包括とのかかわりをもつことについてモチベーションが上がったと感じている。 ● 高齢・障害課で課題整理シートの下案を作成した段階で、他課に連携し、各課がどのように関わることができるかの役割分担を行う等、協働して課題整理シートを作成するような仕組みが考えられる。 |

(6) 区取組課題整理（～9月）

- 【区】9月末までに各地域包括支援センターから提出された事業計画に基づき、区高齢・障害課が「区取組課題整理シート」を取りまとめ、地域包括支援センターと内容を共有・確認の上で、地域包括ケア推進室に提出します。

※「区取組課題整理シート」については、区地域包括支援センター運営協議会で報告を行い、そこでの議論の内容を含めて最終的な取りまとめ結果を区から地域包括支援センターにフィードバックします。

- 【区・地域包括支援センター】「区取組課題整理シート」の作成に際して、市・区への提案事項について優先的に対応が必要と考えられる事項があれば、各区地域包括支援センター連絡会議(センター長会議)等の場面を活用して区役所・地域包括支援センターで協議（問題意識の詳細についての確認、優先順位についてのすり合わせ 等）を行い、市に報告してください。

★取組課題を整理する際に重要なこと

各地域包括支援センターの「事業計画書」「事業報告・評価書」（地域課題スクリーニング表を含む）には、市・区の実践を進めるための貴重な情報が多く含まれています。一方で、記載されている情報量は非常に多いため、それらの情報を集約・整理することは簡単な作業ではありません。「取組課題整理シート」の作成にあたっては、以下の点を心に留めておきましょう。

①まずは、地域包括支援センターの声をしっかり聴く

- 自らの考えや行政側の事情等は一旦横に置いて、まずは記載されている内容を正確に理解することに努めましょう。記載内容から地域包括支援センターの問題意識が把握し切れない（あるいは、正しく把握できているか不安な）場合は、地域包括支援センターに直接確認する等のコミュニケーションを惜しまず実施しましょう。

②市・区として取り上げるべき問題を精査する

- 様々な記載がある中から絞り込みを進めていく際には、「困っている（問題を有している）住民の方々どの程度存在しているか」という規模感と、「有効な対応を実施できない場合にどのような事態が生じるか」という深刻さの双方の視点から、市・区として取り上げるべき問題を精査することが重要です。
- なお、情報を絞り込んでいくにあたっては、行政（あるいは行政職員個人）として「これは問題であろう（あるいは、問題になってくるだろう）」という仮説をあらかじめ持つと効果的です。仮説と合致する記載については次の③における取組の展開を押し進める上での材料として活用できるとともに、当初の仮説と乖離のある記載については記載意図を深掘りすることで問題をより正確に把握するための糸口になり得ます。

③解決に向けた道筋を考える（「問題」を「課題」化する）

- ②で精査した問題ごとに、どのような道筋で解決を目指していくべきかを考えましょう（どのようなルートで山を登るかを考え、「問題」を「課題」化しましょう【問題と課題の違いについては、P.2～P.3 参照】）。なお、短時間で解決することは難しい問題も多くありますので、その場合は最終的なゴールを見失わないようにしつつ「今年度の取組によってどこまで到達できるとよいか」を考え、今年度のゴールを明確にしておきましょう。
（例：〇年度頃に区内全域において困難事例へ円滑に対応できるよう今年度は区担当課と地域包括支援センターの間で事例検討の場を設ける（その上で次年度以降に弁護士や医療職等などの関係者にも事例検討の輪を広げていく）、問題として認識している関係者が現時点では限られているため今年度は問題意識を関係者間で共有できている状態を目指す 等）

★「取組事項」の記載例

・「町会役員・民生委員が高齢化していること」や「民生委員欠員地区において状況把握がしづらく、潜在化している相談ケースがあると思われること」を課題と考え、まずは「町会への定期的な顔出し」や「新任民生委員への挨拶と、包括の活動紹介の徹底」を今年度の取組事項として設定。

・「欠員や勤務年数の差などによって、地域包括支援センター内におけるケース検討及びOJTが難しくなっていること」「センター長の負担が増えていること」等を課題と考え、「区単位での定期事例検討会の開催」を取組事項として設定。

※取組課題整理をとおして全市的な対応に繋がった事例については、「地域包括支援センターの事業評価シートから市レベルでの対応へ広がった事例」（参照：P.14）をご確認ください。

（7）市の取組課題整理、市・区への提案事項への対応状況等のフィードバック（～12月）

- 【市】各地域包括支援センターから提出された事業計画、及び区から提出された「区取組課題整理シート」をもとに、市取組課題を整理し、「市取組課題整理シート」を作成します。また、各地域包括支援センターの事業計画書に記載された市・区への提案事項を取りまとめ、「提案事項に対する市・区としての対応状況等」を整理します。
- 【市】「市取組課題整理シート」及び「提案事項に対する市・区としての対応状況等」については、相談支援・ケアマネジメントワーキンググループ、市地域包括支援センター運営協議会での議論等を踏まえた上で、対応の方向性や進捗状況を区及び地域包括支援センターにフィードバックします。
- 【区】市の整理した「提案事項に対する市・区としての対応状況等」を確認し、各地域包括支援センターへフィードバックしてください。フィードバックにあたっては、次の（7）のヒアリングの機会を活用する等して、双方向のコミュニケーションとなるよう留意してください。

（8）各区地域みまもり支援センター及び地区健康福祉ステーションのヒアリング（1月～3月）

- 【区】区担当者は、毎年1～3月の期間に、区内の各地域包括支援センターとの間でヒアリングの時間を作ってください。各地域包括支援センターの1年間の取組状況の振り返りと次年度に向けた取組方針のすり合わせが主な目的であり、PDCAサイクルを円滑に回していくための節目の機会として有効に活用してください。なお、ヒアリング時には各地域包括支援センターの状況を聞き取るだけでなく、地域包括支援センター事業計画や国事業評価等を受けて行政側で実施している対応についても共有を行い、双方向のコミュニケーションとなるよう留意してください。（詳細は、『5. 国事業評価（体制・運営状況等の評価）の手順』（2）全国統一の評価の結果のフィードバック（1月～2月）』参照。）

★「地域みまもり支援センター」のなりたち

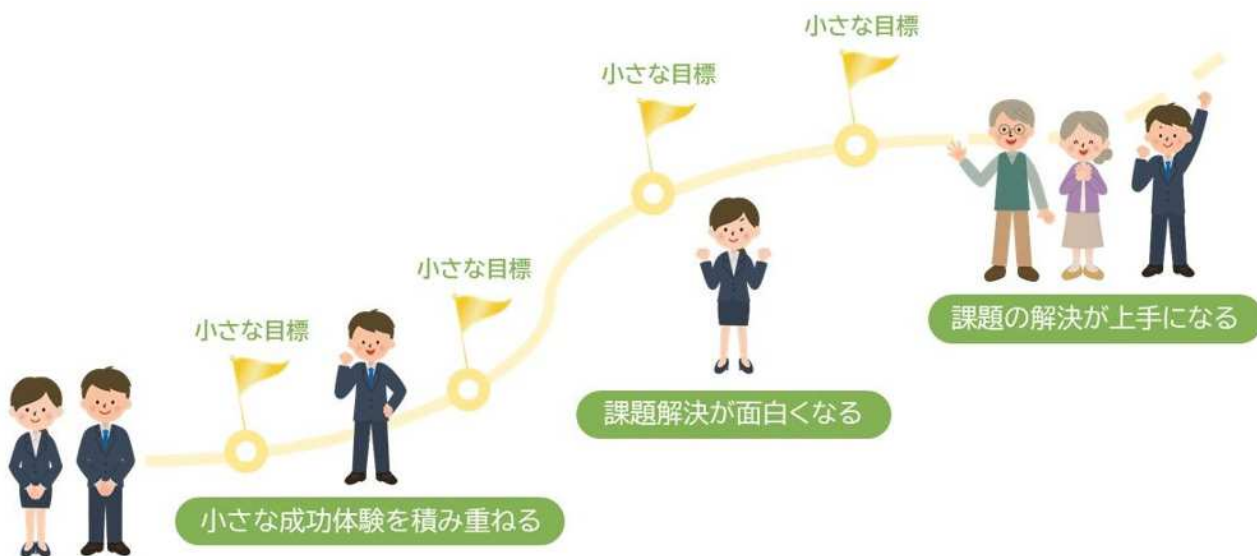
平成 28（2016）年 4 月、住民に身近な区役所で「個別支援の強化」と「地域力の向上」を図るとともに、専門職種のアウトリーチ機能を充実し、地域包括支援センターや障害者相談支援センター、児童家庭支援センター等の専門相談支援機関との連携を推進するため、川崎市が独自に各区の保健福祉センター内に「地域みまもり支援センター」を設置しました。

その後、平成 31（2019）年 4 月に、センター内での個々人へのケアを中心とした専門支援機能との連携の強化を図るため、保健福祉センター全体を「地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）」と改称したことで、現在の「地域みまもり支援センター」が誕生しました。

（参考 地域包括ケアシステム推進ビジョン）

★小さな成功体験を大切に

1 年の取組を振り返る際に、どうしても「できていないこと」に目が行きがちです。目標設定においてまずは小さな目標を設定するとともに、前年から少しでも前進できた取組については、その「成功」へ意識的に目を向けるようにしましょう。小さな変化を成功体験として積み重ねていくことで、継続的に取り組むモチベーションを自ら醸成していきましょう。



5. 国事業評価（体制・運営状況等の評価）の手順

（1）全国統一の評価の実施（5月～6月）

- 国事業評価の評価指標は、地域包括支援センターの目的を達成するために必要だと考えられる業務を適切に実施しているかどうか、網羅的に点検するための指標になります。
- 【地域包括支援センター】上記趣旨から、できるだけ全職員で協議しながら評価指標の記入を行うようにしてください。また、できている理由及びできていない理由を各評価項目に関して分析し、必要な対応をできるだけ全職員で検討するようにしてください。

図 評価項目の全体構成

| 業務大項目 | 市町村 | ←連携項目数→ (役割分担・連携) | 地域包括支援センター |
|----------------------------|------|----------------------|------------|
| I. 組織・運営体制等 | | | |
| 1. 組織・運営体制 | 13項目 | ←10項目→ | 12項目 |
| 2. 個人情報の管理 | 3項目 | ←2項目→ | 4項目 |
| 3. 利用者満足度の向上 | 3項目 | ←3項目→ | 3項目 |
| II. 個別業務 | | | |
| 1. 総合相談支援業務 | 6項目 | ←5項目→ | 6項目 |
| 2. 権利擁護業務 | 4項目 | ←4項目→ | 5項目 |
| 3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 | 6項目 | ←5項目→ | 6項目 |
| 4. 地域ケア会議 | 13項目 | ←9項目→ | 9項目 |
| 5. 介護予防ケアマネジメント ・介護予防支援 | 6項目 | ←5項目→ | 5項目 |
| III. 事業間連携（社会保障充実分事業） | | | |
| | 5項目 | ←5項目→ | 5項目 |
| 計 | 59項目 | ←48項目→ | 55項目 |

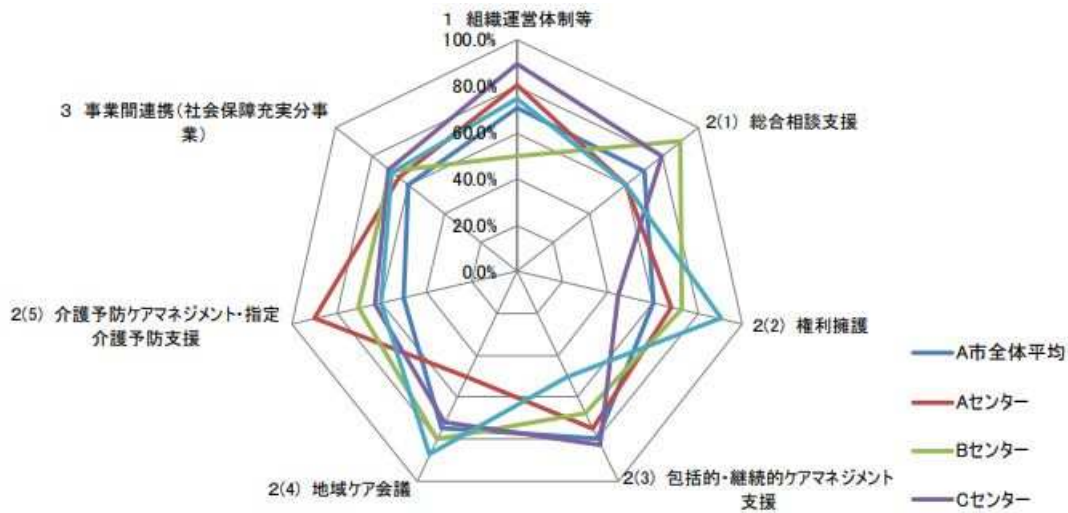
出典「評価指標活用の手引き」令和2（2020）年3月（三菱UFJリサーチ&コンサルティング）

（2）全国統一の評価の結果のフィードバック（1月～2月）

- 【市】（1）で実施した評価の結果を市からフィードバックします。評価結果は、レーダーチャートで市全体平均及び他の包括支援センターの結果と比較ができるようになっています。
- 【地域包括支援センター】市から提供されるレーダーチャート等をもとに、市全体平均や同じ区内の他の包括支援センターの結果と比較を行い、評価結果の低い項目及び高い項目を確認してください。その上で、その理由の分析と、必要な対応の検討を行ってください。

- 【市・区・地域包括支援センター】レーダーチャートと併せて、連携項目シートを提供します。このシートは、行政と地域包括支援センターの両方の視点から回答した指標を突き合わせて、認識のズレや周知不足、運用の不具合を確認することができます。特に、ズレが大きい項目等は着色して、ヒアリング等で確認すべきポイントを示しています。

図 市から提供するレーダーチャート例



出典「評価指標活用の手引き」令和 2（2020）年 3 月（三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング）

図 市から提供する連携項目シート例

| 市町村指標 | | 実施状況 | 全市 | 川崎区 | 幸区 | 中原区 | 高津区 | 宮前区 | 多摩区 | 麻生区 | センター指標 | |
|-----------------------|--|------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--|
| (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援 | | | | | | | | | | | | |
| Q49 | 日常生活圏域ごとの居宅介護支援事業所のデータを把握し、センターに情報提供しているか。 | × | 77.6% | 55.6% | 83.3% | 50.0% | 100.0% | 57.1% | 100.0% | 100.0% | Q42 | 担当圏域における居宅介護支援事業所のデータを把握しているか。 |
| Q50 | センターと協議の上、センターが開催する介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を作成しているか。 | ○ | 63.3% | 22.2% | 66.7% | 66.7% | 85.7% | 71.4% | 42.9% | 100.0% | Q43 | 介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に、指定居宅介護支援事業所に示しているか。 |
| Q51 | 介護支援専門員を対象に、包括的・継続的ケアマネジメントを行うための課題や支援などに関するアンケートや意見収集等を行い、センターに情報提供を行っているか。 | ○ | 93.9% | 88.9% | 83.3% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 85.7% | Q44 | 介護支援専門員に対するアンケート・意見収集等についての市町村からの情報提供や、市町村による研修会の内容等を踏まえ、地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会や、個別事例を検討する地域ケア会議等を開催しているか。 |
| Q53 | 介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者との意見交換の場を設けているか。 | ○ | 85.7% | 88.9% | 100.0% | 66.7% | 85.7% | 100.0% | 71.4% | 85.7% | Q45 | 担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者との意見交換の場を設けているか。 |
| Q54 | センターが介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。 | ○ | 55.1% | 55.6% | 83.3% | 16.7% | 71.4% | 42.9% | 57.1% | 57.1% | Q47 | 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。 |

様 式

担当圏域の特徴

(1)人口等

| | | | |
|------------|------------|---------------|------------|
| ①人口 人 | ②高齢化率 % | ④65歳以上人口 人 | 前期高齢者 人 |
| | | | 後期高齢者 人 |
| ⑤要支援1 人 | ⑥要支援2 人 | | |
| ⑦要介護1 人 | ⑧要介護2 人 | ⑨要介護3 人 | ⑩要介護4 人 |
| | | | ⑪要介護5 人 |

(2)担当圏域の状況

| 地区名 | 地理的環境・特徴 | 地域活動・地域団体 | 環境 (福祉・生活・医療) | 地域からの意見や課題 | 総合相談における傾向 |
|-----|----------|-----------|------------------|------------|------------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

地域課題スクリーニング表（事業計画別表）

| # | 地域名 | ①地域の課題点（集付き） ※「監」が「目」に突っ込んでいるものを記載 | ②「目」が「目」に突っ込んであるものか ・「監」が「目」に突っ込んであるものか ・「監」が「目」に突っ込んであるものか ・「監」が「目」に突っ込んであるものか | ③(原簿・原簿等) ④⑤で記載した課題の具現化が可能な課題 | ⑥(原簿・原簿等) ⑦⑧⑨で記載した課題の具現化が可能な課題 | ⑩チェック項目 | | | | 優先度 (高・中・低) | ⑪包括的取組事項（各年度末のヒアリング・評価時に記載） | | | | | | |
|---|------|---------------------------------------|--|----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------|-----------------------------|--|------------|--|--|--|--|
| | | | | | | ⑩-1 地域で取り組むことのできる課題があるか | ⑩-2 地域全体で取り組むことのできる課題があるか | ⑩-3 地域全体で取り組むことのできる課題があるか | ⑩-4 地域全体で取り組むことのできる課題があるか | | ⑪-1 RQ年度の取組 ※事業計画との対応を記載 | ⑪-2 RQ年度の取組から得られた気づき ※想定していた取組とアプローチするところや方法が異なるか、 対象者の取組に及ぼした影響について事前に考えられているか ※ | ⑪-3 次年度の取組 | ⑪-4 (翌年度取組) ステータス ・完了 ・変更・継続（移動先を記載） | | | |
| 1 | X×地区 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | X×地区 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | X×地区 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | X×地区 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | X×地区 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | X×地区 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | X×地区 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | X×地区 | | | | | | | | | | | | | | | | |

基本方針、体制

(1) 令和 年度の基本方針・重点目標

| |
|--|
| |
|--|

(2) 職員体制の状況(令和 年4月1日時点)

| 職種等 | 氏名 | 資格 |
|---|----|--|
| センター長 | | 保健師・看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員・介護支援専門員・その他() |
| 三職種職員配置 ※(委託仕様書の配置基準の三職種職員として配置されている職員を記載する) | | |
| 保健師等 | | 保健師・看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員・介護支援専門員・その他() |
| 社会福祉士 | | 保健師・看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員・介護支援専門員・その他() |
| 主任介護支援専門員 | | 保健師・看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員・介護支援専門員・その他() |
| 増配置三職種 | | 保健師・看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員・介護支援専門員・その他() |
| 地域支援強化要員 | | 保健師・看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員・介護支援専門員・その他() |
| | | 保健師・看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員・介護支援専門員・その他() |
| 非常勤職員配置 ※(委託仕様書の配置基準の非常勤職員として配置している職員を記載する) | | |
| | | 保健師・看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員・介護支援専門員・その他() |
| | | 保健師・看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員・介護支援専門員・その他() |

基本的事項

(1) チームアプローチの確立

| 事業計画 | 事業報告(自地域包括支援センターが実施している事柄のうち、効果を上げていると評価できること) | 現状・課題(今後、取組を強化・充実していくべきこと) |
|------|--|----------------------------|
| | | |

(2) 職員の資質向上

| 事業計画 | 事業報告(自地域包括支援センターが実施している事柄のうち、効果を上げていると評価できること) | 現状・課題(今後、取組を強化・充実していくべきこと) |
|------|--|----------------------------|
| | | |

(3) 情報管理

| 事業計画 | 事業報告(自地域包括支援センターが実施している事柄のうち、効果を上げていると評価できること) | 現状・課題(今後、取組を強化・充実していくべきこと) |
|------|--|----------------------------|
| | | |

(4) 防災の取組み

| 事業計画 | 事業報告(自地域包括支援センターが実施している事柄のうち、効果を上げていると評価できること) | 現状・課題(今後、取組を強化・充実していくべきこと) |
|------|--|----------------------------|
| | | |

総合相談支援業務

(1) 初期段階での相談対応 専門的・継続的な総合相談支援

| 事業計画 | 事業報告(自地域包括支援センターが実施している事柄のうち、効果を上げていると評価できること) | 現状・課題(今後、取組を強化・充実していくべきこと) |
|------|--|----------------------------|
| | | |

(2) 地域包括支援ネットワークの構築

| 事業計画 | 事業報告(自地域包括支援センターが実施している事柄のうち、効果を上げていると評価できること) | 現状・課題(今後、取組を強化・充実していくべきこと) |
|------|--|----------------------------|
| | | |

(3) 実態把握業務

| 事業計画 | 事業報告(自地域包括支援センターが実施している事柄のうち、効果を上げていると評価できること) | 現状・課題(今後、取組を強化・充実していくべきこと) |
|------|--|----------------------------|
| | | |

権利擁護業務

・高齢者虐待対応・成年後見制度・消費者被害等について

| 事業計画 | 事業報告(自地域包括支援センターが実施している事柄のうち、効果を上げていると評価できること) | 現状・課題(今後、取組を強化・充実していくべきこと) |
|------|--|----------------------------|
| | | |

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域での体制構築や個々の介護支援専門員に対するサポートについて

| 事業計画 | 事業報告(自地域包括支援センターが実施している事柄のうち、効果を上げていると評価できること) | 現状・課題(今後、取組を強化・充実していくべきこと) |
|------|--|----------------------------|
| | | |

介護予防ケアマネジメント業務

| 事業計画 | 事業報告(自地域包括支援センターが実施している事柄のうち、効果を上げていると評価できること) | 現状・課題(今後、取組を強化・充実していくべきこと) |
|------|--|----------------------------|
| | | |

市単独事業の調整

・市単独事業

| 事業計画 | 事業報告(自地域包括支援センターが実施している事柄のうち、効果を上げていると評価できること) | 現状・課題(今後、取組を強化・充実していくべきこと) |
|------|--|----------------------------|
| | | |

その他

・独自の取組について

| 事業計画 | 事業報告(自地域包括支援センターが実施している事柄のうち、効果を上げていると評価できること) | 現状・課題(今後、取組を強化・充実していくべきこと) |
|------|--|----------------------------|
| | | |

市・区への提案（市・区が今後取組を強化・充実してほしいこと。）

市・区への提案について記載。提案事項の記載にあたっては、その取組が強化・充実されることで包括の取組をどう変えたいか、更なる取組にどう発展したいと考えているかを記載し、提案の背景・根拠には、提案が必要と考えた背景や理由も具体的に記載してください。

| 提案事項 | 提案の背景・理由 | 提案先又は関係者 |
|------|----------|----------|
| | | |
| | | |
| | | |

自己評価まとめ

| |
|-------------------|
| 【総合自己評価】 |
| 【課題】 |
| 【次年度の取組方針】 |

年間事業計画

令和 年度年間事業計画

※記入スペースが不足する場合は、ページを複製してご記入ください。

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|
| 主催事業 | | | | | | | | | | | | |
| 地域ケア 会議 (相談支 援・ケアマ ネジメント 調整会議 含む) | | | | | | | | | | | | |
| その他 事業 (共催・後 援を含む) | | | | | | | | | | | | |
| 研修 | | | | | | | | | | | | |

年間事業報告

令和 年度年間事業報告

※記入スペースが不足する場合は、ページを複製してご記入ください。

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|---------------------------------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|
| 主催事業 | | | | | | | | | | | | |
| 地域ケア会議 (相談支援・ケアマネジメント調整会議含む) | | | | | | | | | | | | |
| その他事業 (共催・後援を含む) | | | | | | | | | | | | |
| 研修 | | | | | | | | | | | | |

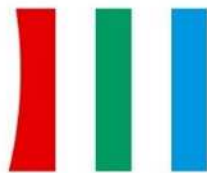
地域ケア会議報告

令和 年度実施分 地域ケア会議実施報告

| | | センターが実施した地域ケア会議の回数 | | | 2 貴包括で果たしている地域ケア会議の機能についてあてはまるものを選択してください | | | | | | | | |
|----|-------------|-------------------------|---|---|---|---------------------------------|--|---------------------|--|-------------------------|---|----------------|---|
| NO | 地域包括支援センター名 | (1) 令和〇年度の 会議開催回数 | (2) (1)のうち個別 事例について 検討する地域 ケア会議 * 個別課題の 解決、地域包括 支援ネットワー クの構築、地域 課題の発見の いずれかもしくは は全ての機能を 踏まえた会議。 | (3) (1)の内、地域 課題を検討する 地域ケア会議 * 地域づくり・ 資源開発、政策 形成のいずれ かもしくは全て の機能を踏まえ た会議。 | (4) 個別課題解決 機能 | (5) 地域包括支援 ネットワーク構 築機能 | (6) (2)で「はい」と回答した市区 町村は具体的な内容を記載 | (7) 地域課題発見 機能 | (8) (4)で「はい」と回答した市区 町村は具体的な内容を記載 | (9) 地域づくり・資 源開発機能 | (10) (6)で「はい」と回答した市区 町村は具体的な内容を記載 | (11) 政策形成機能 | (12) (8)で「はい」と回答した市区町村 は具体的な内容を記載 |
| | | 記入例 | 〇〇地域包括支援センター | 5 | 3 | 2 | あり・なし | あり・なし | 「あり」と回答した包括のみ 記載 | あり・なし | 「あり」と回答した包括のみ 記載 | あり・なし | 「あり」と回答した包括のみ 記載 |
| | | | | | | | | | | | | | |

【参考文献】

- 地域包括支援センター運営マニュアル3訂
- 令和3年度老人保健健康増進等事業「地域づくりの実践に向けた道しるべ」（N T Tデータ経営研究所）
- 令和元年度老人保健健康増進等事業「評価指標活用の手引き」（三菱U F Jリサーチ&コンサルティング）
- 平成29年度老人保健健康増進等事業「地域包括支援センターが行う『包括的・継続的ケアマネジメント支援業務』における環境整備の取組みに関する実践マニュアル」（日本能率協会総合研究所）
- 函館市地域ケア会議運営マニュアル（令和3年3月 函館市地域ケア会議デザイン検討会）
- 「地域包括支援センターが実施するケアマネジメント支援に関する指導者養成研修」テキスト



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

地域包括支援センター事業計画・報告・評価書作成の手引き

発行 令和6年6月

企画・編集 川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室